



ニュースレター

Vol. 25

2023年9月

発行：NPO法人えん

住所：伊東市松原771-12

TEL: 0557-32-0117

FAX: 0557-32-0118

ウェブサイト：www.npo-en.org

編集：高田仁里



バックナンバーはこちら

サポートハウスえん



今月のコーヒータイム。
おいしいコーヒーで話も弾みます。



隙間時間にボール投げ。



保育園へのプレゼントを製作中。



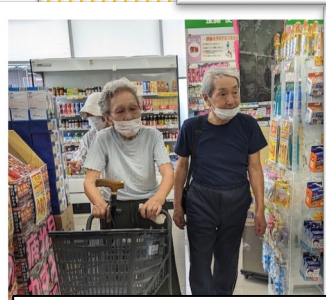
フラダンス部を結成！金曜日に活動中。



奥野ダムへ散策に。



夏の楽しみ、かき氷！



買い出しへ出かけます。



暑くて外に出れない日が続いていましたが、気温が下がった日に庭仕事。



編集コラム 「富戸ケアファームプロジェクト④」



農業を通じて多世代が交わる取り組みを

前号で書いた通り、農作業は相互扶助や連帯感を基盤とした良好な人間関係の形成に役立ちます。これは、同世代だけでなく、異なる世代・多世代であっても有効です。

そもそも、農業はあらゆる世代にとって魅力あるものです。子どもは親や学校以外の大人との関わりを経験でき、自然体験、食育の場として。大人にとっては、癒しを求めたり、仲間づくり、

趣味づくりの場として。認知症の人にとっては、社会参加、社会貢献、リハビリテーション、生きがいづくりの場となります。多世代が農業から利益を享受しつつ、良好な人間関係を構築できれば、「認知症の人にやさしい地域」づくりはさらに進んでいくことでしょう。もちろん、そうした場合は、多様な世代にとっても魅力的なはず。

小規模保育所えん



みんな大好き、プール遊び！
水遊び！



夏野菜を使った野菜スタンプに取り組みました。
野菜を持って観察し、スタンプ制作を楽しみました。



新聞紙を使った遊び。子どもたちは色々な遊
び方を思い付きます。



ひよこ組も指先を使って制作中。



富戸ケアファーム



猛暑のため、屋内でミーティング初開催。ケア
ファームへ参加してみようか、どんなことを
やりたいか、など参加者同士で話し合いました。



恒例の除草作業。暑い中の作業は少し大変。刈払機
を使い慣れている参加者は機械を使って除草作業。



続、夏休みの畑活動！草取りや、収穫など、
暑い中一緒に頑張ってくれました。

